

第137期(第2四半期)

# 株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日



## CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 Kyodoトピックス
- 5 営業の概況
- 9 第2四半期 連結財務諸表の概要
- 10 業績の推移(連結)
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

当期の印刷業界は、インターネット広告や電子書籍などのデジタルメディアが好調に推移した一方、紙媒体を中心とする印刷市場の縮小傾向は続き、依然として先行きが不透明な状況にありました。こうしたなか共同印刷グループは、情報系事業においてはトータルソリューションの推進による販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大、生活・産業資材系事業においては国内外でのラミネートチューブの拡販や高機能製品の需要開拓等に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高・利益ともに前年同期を上回り、増収増益となりました。

当グループは、印刷技術を核に時代の要請に応える形で事業を発展させてまいりました。今後も、マーケットが抱える課題解決に向けて積極的に提案していくことで、新たな成長のステージに進みたいと考えています。マイナンバー制度の導入により一層重要性を増す個人情報保護という課題に対しては、高い情報セキュリティ環境とデータプリントに関する豊富なノウハウでお客さまをサポートします。食の安全・安心、消費者の高齢化等を課題とするパッケージ分野に対しては、開封のしやすさや廃棄のしやすさなど機能性に優れる包材を開発・提供します。これからも、こうした変化する社会のニーズを的確につかみながら、強みを活かして事業領域を拡大し、利益の創出に努めてまいります。

当グループは引き続き、付加価値の高い製品やサービスを幅広い業界のお客さまに提供することで、成長性を高め、企業価値の向上をめざしていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長

藤森康彰



## 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得の改善により個人消費が堅調に推移するなど緩やかな回復の動きがみられた一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速や円高の状況により企業の輸出や設備投資が伸び悩むなど、不安定な状況がありました。印刷業界におきましては、出版印刷をはじめとする紙媒体の需要減少や、競争激化に伴う受注価格の下落など、厳しい経営環境が続いています。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、グループ一丸となって業績の向上に取り組みました。情報コミュニケーション部門および情報セキュリティ部門からなる情報系事業では、トータルソリューションの推進によって、販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大を図りました。なかでもマイナンバー制度やストレスチェックの義務化等によるBPO需要が拡大しているため、川島ソリューションセンターの増築に着手しております。生活・産業資材系事業では、チューブや軟包装の受注拡大をめざして新製品の開発や新規得意先の開拓に取り組むとともに、海外市場におけるラミネートチューブの拡販に向けて、ベトナム工場の生産力強化に努めました。

利益向上に向けた施策としては、設備の再配置等による生産効率向上と、生産体制の見直し等によるコスト削減に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は455億2千9百万円(前年同期比4.5%増)となり、営業利益は12億7千6百万円(前年同期は営業損失1百万円)、経常利益は18億1千8百万円(前年同期比247.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9千1百万円(前年同期比138.3%増)となりました。

単位:百万円

連結	前第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	増減率
売上高	43,553	45,529	4.5%
営業利益又は営業損失(△)	△1	1,276	—
経常利益	522	1,818	247.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	457	1,091	138.3%
一株当たりの中間配当金	4円	4円	—

※年間では8円の配当を予定しています。

# Kyodoトピックス

## 1 コンテスト受賞

共同印刷は長年にわたるお客さまからの信頼のもと、さまざまな製品・サービスの製造に携わっています。街々暮らし、ビジネスなど、あらゆるシーンに浸透し活躍している、そうした“made by 共同印刷”の製品から、当第2四半期中に賞を受けたものをご紹介します。

### 第50回 造本装幀コンクール

(一社)日本書籍出版協会と(一社)日本印刷産業連合会が、出版文化の向上・発展と読書推進を目的に主催しています。

「サイエンスペディア1000」は、堅くなりがちな科学事典を親しみやすく、理解しやすいものにしたことが評価され、「造本装幀についての印刷・製本技術および材料の選択等が優秀と認められ、本としての機能を発揮し、全体的に調和のとれた」作品に贈られる「経済産業大臣賞」などを受賞しました。

- 経済産業大臣賞／日本書籍出版協会理事長賞  
株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン  
「サイエンスペディア1000」
- 日本書籍出版協会理事長賞  
株式会社太田出版 「中村明日美子コレクションⅠ～Ⅷ」
- 日本印刷産業連合会会長賞／印刷・製本特別賞  
株式会社ベースボール・マガジン社  
「阪神タイガース ヒストリー・トレジャーズ」



### 第19回「日食優秀食品 機械資材・素材賞」

日本食糧新聞社が、食品業界をバックアップする機械と資材・素材を表彰するために制定した賞です。

本賞の資材部門に、当社がオリヒロ株式会社の使用許諾を得て販売している「Tパウチ・ショット」が入賞しました。製品特長である開封位置のわかりやすさ、直線カット性による開封のしやすさ、内容物のこぼれにくさなどが高く評価されました。

- 資材部門入賞「Tパウチ・ショット」



### 第55回 2016JPC (Japan Packaging Competition)

(一社)日本印刷産業連合会が主催する、市場で販売されているコマーシャル・パッケージの優秀性を競うコンテストです。

プラスチック容器から湯切りフタタイプの容器にリニューアルされた「ペヤング ソースやきそば」が、「デザイン処理で従来容器と同じ見た目を可能にし、安心・安全の機能性、ユーザビリティの向上が実現」したと評価されました。

- 日本印刷産業連合会会長賞  
まるか食品株式会社  
「ペヤング ソースやきそば」





## 第46回 日本プロモーション・マーケティング協会展

(一社)日本プロモーション・マーケティング協会が主催する、プロモーション・マーケティングの総合展です。売り場や店頭を刺激した、「攻め技」「勝ち技」が一堂に会する同展で、化粧品売り場を華やかに彩った5作品が「銀賞」を受賞しました。

### ●化粧品カウンター部門 銀賞

株式会社コーセー

「エスプリーク 秋後アウトスペース販売台」(写真①)

「白澄 春アウトスペース演出ツール」(写真②)

「冬 AQMW専門店演出ツール」(写真③)

### ●化粧品フロア部門 銀賞

株式会社コーセー

「秋後 雪肌精30thフロア販売台メンテセット」(写真④)

### ●ハンガーPOP部門 銀賞

株式会社コーセー

「ネイチャーアンドコー 春UV販売ボード」(写真⑤)



## 2 「もったいい会社プロジェクト」

「CSR意識調査」の結果から抽出した職場の課題を共有し、全社員が改善策を考えて行動することで、より働きがいのある、いい職場・いい会社とするために2015年に始まった取り組みです。

### グループ全体で取り組みを推進

本プロジェクトは、当グループ全体の取り組みと、各部門・グループ会社の取り組みの両輪でPDCAサイクルを回しています。事業の方向性の明示とベクトルの共有化、働きやすい職場環境の整備、人事制度のより適切な運用と改善については事務局が中心となって施策を展開し、各部門・グループ会社は、職場特性に合わせて活動しています。



グループ会社でのミーティング

### 多彩な改善活動を展開

初年度は、他職場の相互見学で理解を深めて業務の円滑化

を図ったチームや、部門内アンケートの結果を具体的な教育訓練につなげたチーム、独自の「腰痛予防ストレッチ」で社員の健康増進に努めたチームなど、全47チームが特色ある活動を展開しました。2016年7月には、改善活動に精力的に取り組んだ13チーム・3職場を「We Love KP Award」で表彰しました。

2017年の創業120周年に向け、本活動を通じて企業力を向上させて、業績の向上につなげていけるよう、引き続き取り組んでまいります。

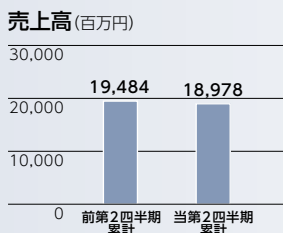
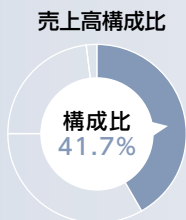


# 営業の概況

## 情報コミュニケーション部門

※従来の「出版商印部門」からセグメント名称を変更しております。

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子出版など



連結売上高 189億7千8百万円  
(前年同期比2.6%減)

営業損失 △2億8千5百万円  
(前年同期は営業損失 △4億8千3百万円)

出版印刷では、マンガをはじめとする各種コンテンツをデジタル展開するサービスを推進するとともに、デジタル印刷機を活用した小ロット印刷の拡大に取り組みました。電子コミックの配信業務は好調に推移したものの、定期刊行物と書籍がともに減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、得意先の課題解決につながるトータルソリューション提案を推進し、顧客分析サービスやオンラインで販促物の注文・発送・在庫管理ができるサービスの提供などにより、印刷周辺業務の受注拡大に取り組みました。また生活者の食卓画像をさまざまな方向から分析できるマーケティングサービス「リア食®」は、食品業界を中心に販売

実績が上がり始めています。販促用DMやパンフレット類は増加したものの、情報誌やカタログ、POPなどが減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

出版印刷においては、コンテンツを紙とデジタルの双方へ展開するサービスをさらに強化し、マンガを中心にした受注



出版印刷

拡大をめざすとともに、小ロット化対応として、デジタル印刷機を活用した小ロットソリューションを推進してまいります。

一般商業印刷においては、マーケティングや顧客分析等を組みこんだ販促プランの立案、各種事務局業務や在庫管理業務などのメニューを複合的に組み合わせた提案を行い、印刷物とその周辺サービスの受注拡大をめざします。



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

## TOPICS (株)イノバと業務提携、独自のデジタルマーケティング・ソリューションを提供

2016年4月、株式会社イノバとの業務提携を発表しました。同社が保有する、コンテンツマーケティング\*の要となるWebコンテンツ制作のノウハウと、当社が培ってきた紙媒体を含めた販促ソリューションを連動させ、企業の新規顧客獲得やブランド構築、販売促進に寄与する独自のデジタルマーケティング・ソリューションを提供していきます。また、ソフトウェアの共同開発やセミナー、カンファレンスの共同開催にも取り組み、協力体制を確立していきます。

※自社メディアを使った集客で見込み客をWebサイトへ引きつけ、獲得した見込み客をメールマガジンなどで管理・育成することで、最終的に資料請求や購買へつなげるというマーケティングの手法。

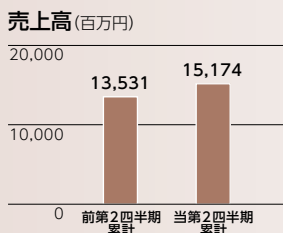
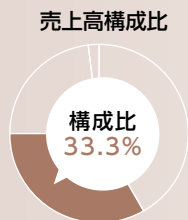


当社は「販促のヒント」を集めたWebサイト「Hint Clip」を運営しています。

## 情報セキュリティ部門

※従来の「ビジネスメディア部門」からセグメント名称を変更しております。

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



連結売上高 151億7千4百万円  
(前年同期比12.1%増)

営業利益 11億7千8百万円  
(前年同期比126.7%増)

情報セキュリティ部門では、マイナンバー関連BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)の需要増や、介護・医療分野におけるBPO需要の取り込みをめざし、川島ソリューションセンターの機能を生かした提案活動を推進するとともに、BPOやデータプリント、ICカードの受注拡大と生産効率向上に向けた体制づくりに努めました。

官公庁や金融機関からのデータプリントやBPOの受注増によりビジネスフォームが増加し、抽選券の受注増によって証券類も増加、IC乗車券をはじめとするICカードも増加しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、BPOの受注拡大に向け提案力の強化と受託体制の整備に取り

組んでいます。マイナンバー制度の開始に伴い、官公庁・自治体や金融機関でのBPO需要が拡大するなか、今期は川島ソリューションセンターの増築に着手しました。データプリントの生産体制を強化するとともに、機密情報を扱う豊富なノウハウおよび高いセキュリティ体制を生かし、さらなる受注拡大に取り組んで

まいります。証券類やICカードでは、外国人旅行者の増加などをうけて乗車券類や交通系ICカードの需要は堅調に推移する見通しです。この分野では生産ラインの合理化による収益力向上を図るとともに、新製品開発や新市場開拓にも取り組み受注拡大をめざしてまいります。



ビジネスフォームなど



通帳・証券類

### TOPICS 川島ソリューションセンターの第三期工事に着手

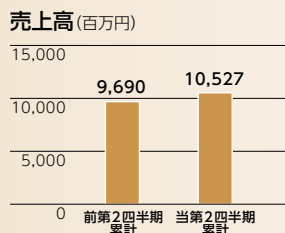
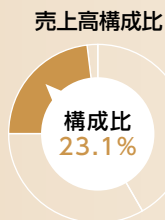
2016年8月、増加傾向にあるデータプリントやBPOサービスの需要を取り込み、さらなる成長を図るため、データ加工処理の専門センターである川島ソリューションセンター(埼玉県比企郡)の第三期工事に着手しました。完成は2017年3月末の予定です。生産スペースを拡大して設備の増強や再配置を行うことにより、データプリント事業およびBPOサービスの受託体制の強化を図ります。



第三期工事完了後の川島ソリューションセンター(イメージ)

## 生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品など



連結売上高 **105億2千7百万円**  
(前年同期比8.6%増)

営業利益 **2億9千6百万円**  
(前年同期比435.1%増)

生活・産業資材部門では、チューブ事業の拡大をめざし、化粧品向けにフルプリント仕様のラミネートチューブの提案を進めるとともに、ベトナムの子会社を拠点としたASEAN市場での拡販に取り組みました。軟包装では、湯切りフタ材「パーシャルオープン™」や各種業務用包材の拡販をめざし、食品向けを中心に提案を行いました。またキュービック型フィルム製コンテナ「ハンディキューブ™」は消臭剤用包材として採用されました。「モイストキャッチ®」などの高機能製品については、医薬品向けや電子部品向けに提案を進めるとともに、新規得意先や新規市場の開拓に取り組みました。歯磨き向けや化粧品向けを中心に

チューブが増加し、パーシャルオープン™の受注増などによって軟包装も増加しました。ラップカートの受注増によって紙器も増加し、産業資材や建材製品も増加となりました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、当社が強みを持つ製品の拡販と市場シェア拡大および高機能製品の拡販による産業資材事業の拡大に取り組んでいます。

チューブでは、歯磨き用とともに化粧品用チューブの受注拡大をめざし、国内およびASEAN地域での提案活動推進と、ベトナム工場の生産体制確立に取り組んでいます。軟包装では、パーシャル

オープン™、Tパウチ、ハンディキューブ™などの製品が得意先からの引き合いを多くいただいておりますが、さらなる受注拡大に向けて、守谷工場の再編に着手することとなりました。産業資材事業ではモイストキャッチ®などの高機能フィルムの機能と用途の拡大を図り、国内外での拡販をめざします。



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など

### TOPICS PacXpert™を「ハンディキューブ™」と改称

米国ダウ・ケミカル社との間で2014年10月にライセンス契約を締結した、キュービック型のフィルム製コンテナ「PacXpert™packaging technology」の製品名を「ハンディキューブ™」に変更し、独自のタンパーエビデンス\*機能を付与しました。要望に応じて、開閉や流量調節が可能なコック機能付きの口栓に変更することも可能です。

今後も、ハンディキューブ™の特長である、パウチ本体と一体化した天地2カ所の持ち手により持ち運びや中身の出し入れがしやすい点や、折りたためて省スペースかつ廃棄性に優れる点などをアピールし、食品や化学用品、非常時飲料水に最適な容器として拡販に努めます。

※開封・開栓の証拠がわかるようにすること



(株)ハル・インダストリアル「エソソフィア・ハイパー」の「消臭ビーズ 詰め替え用 4.0kg」容器として初採用されました。



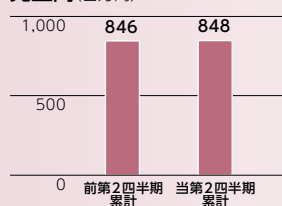
## その他

- 不動産管理
- 物流業務など

売上高構成比



売上高(百万円)



連結売上高 8億4千8百万円  
(前年同期比0.2%増)

営業利益 1億6千2百万円  
(前年同期比34.2%増)

連結子会社における売上高は、物流業務の増加により前年同期を上回りました。



共同物流株式会社

## TOPICS 社会とのコミュニケーション活動

当社は、社会とのコミュニケーションを自発的かつ積極的に図ることができる企業風土の醸成に取り組んでいます。

### ・災害支援

地域の自治体と各種協定を結び、災害発生時の支援体制整備に協力しています。例えば、小石川工場は東京都文京区に障害物除去のためのフォークリフトを提供し、五霞工場は災害時の「一時避難場所」として茨城県五霞町に登録されています(写真①)。

### ・清掃活動

各工場やグループ会社が、地域の清掃活動に継続的に参加しています。例えば、守谷工場は河川敷の自然や環境を守る「利根川河川敷グリーン作戦」にボランティアとして参加しています(写真②)。

### ・福祉活動

本づくりに携わる企業として、さまざまな立場の方へ読書の喜びを提供する一助になればと、社会福祉法人日本点字図書館の「One Book Present運動」に協賛しています。本の点訳や録音の経費を負担するもので、2006年から継続協力中です(写真③)。



当社協賛による点訳本

## 第2四半期 連結財務諸表の概要

前期……………2015年4月1日から2016年3月31日まで  
 前第2四半期 ……2015年4月1日から2015年9月30日まで  
 当第2四半期 ……2016年4月1日から2016年9月30日まで

単位：百万円 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

### ●連結貸借対照表

	前期末	当第2四半期末
<b>資産の部</b>		
流動資産	48,353	46,279
固定資産	56,962	58,678
有形固定資産	38,296	38,674
無形固定資産	1,324	1,250
投資その他の資産	17,341	18,754
<b>資産合計</b>	<b>105,315</b>	<b>104,958</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	32,238	30,920
固定負債	14,808	14,464
<b>負債合計</b>	<b>47,046</b>	<b>45,385</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	51,178	51,918
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	45,473	46,212
自己株式	△ 547	△ 547
その他の包括利益累計額	7,080	7,633
その他有価証券評価差額金	7,091	7,764
為替換算調整勘定	143	△ 43
退職給付に係る調整累計額	△ 154	△ 87
非支配株主持分	9	21
<b>純資産合計</b>	<b>58,269</b>	<b>59,573</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>105,315</b>	<b>104,958</b>

### ●連結包括利益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
<b>四半期純利益</b>	<b>458</b>	<b>1,102</b>
<b>その他の包括利益</b>	<b>216</b>	<b>552</b>
その他有価証券評価差額金	140	673
為替換算調整勘定	△ 9	△ 165
退職給付に係る調整額	84	66
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△ 21
<b>四半期包括利益</b>	<b>675</b>	<b>1,655</b>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	1,643
非支配株主に係る四半期包括利益	1	11

### ●連結損益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
<b>売上高</b>	<b>43,553</b>	<b>45,529</b>
売上原価	36,779	37,255
<b>売上総利益</b>	<b>6,773</b>	<b>8,273</b>
販売費及び一般管理費	6,775	6,996
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>△ 1</b>	<b>1,276</b>
営業外収益	633	663
営業外費用	108	120
<b>経常利益</b>	<b>522</b>	<b>1,818</b>
特別利益	369	8
特別損失	159	234
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>732</b>	<b>1,593</b>
法人税等	273	490
<b>四半期純利益</b>	<b>458</b>	<b>1,102</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	11
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>457</b>	<b>1,091</b>

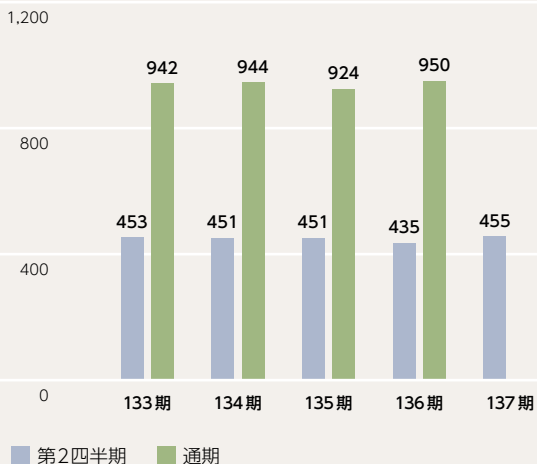
### ●連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	906	2,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,868	△ 2,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,475	△ 881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 18
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,449	△ 992
現金及び現金同等物の期首残高	15,368	14,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,919	13,242

# 業績の推移（連結）

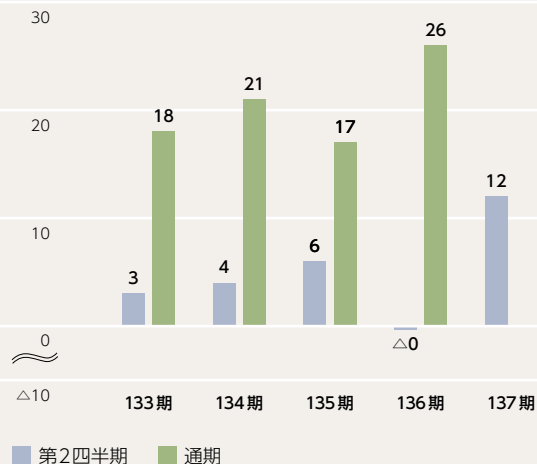
## 売上高

(億円)



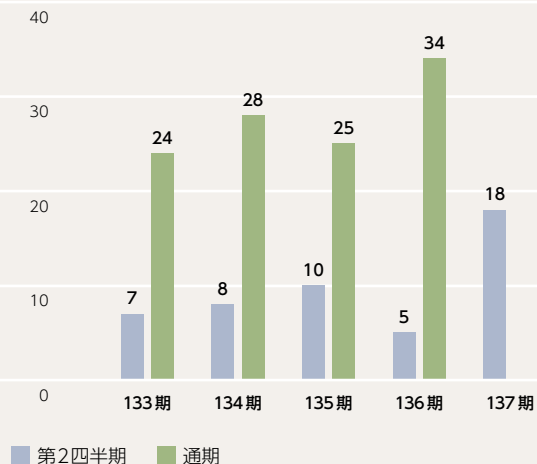
## 営業利益

(億円)



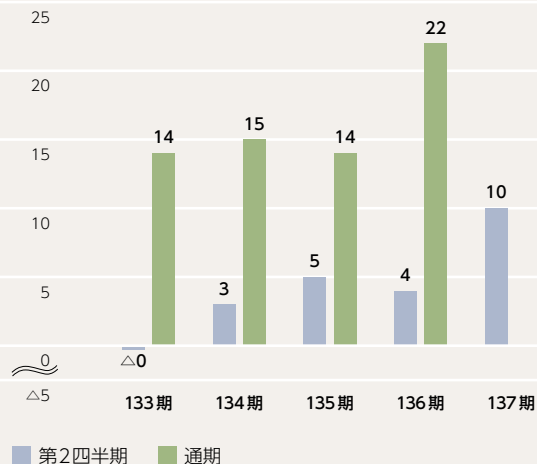
## 経常利益

(億円)



## 親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)

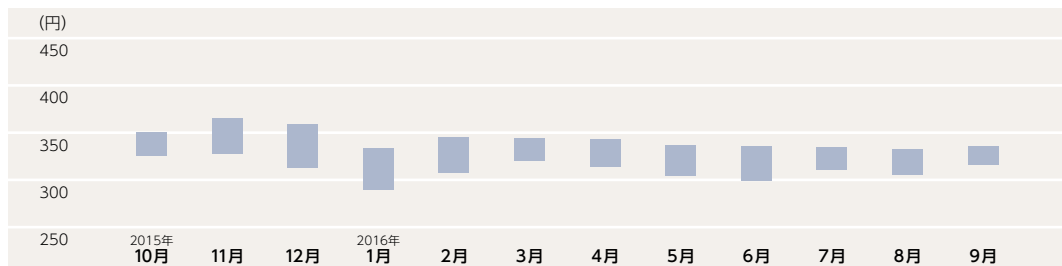


# 株式の状況 (2016年9月30日現在)

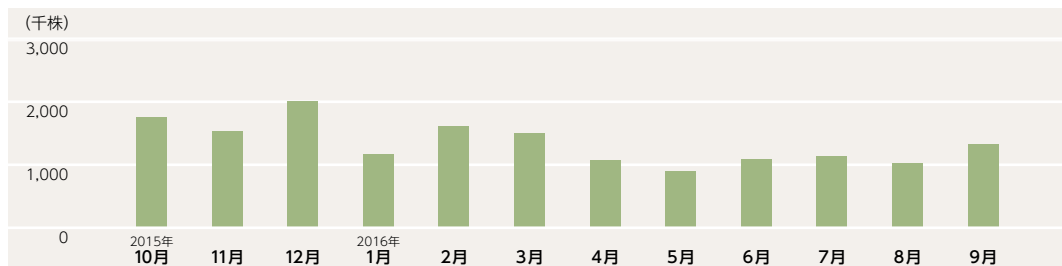
## ● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

### 株価の推移

(終値ベースの高低)



### 売買高の推移



## ● 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	12,770	14.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.40
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,095	2.32
朝日生命保険相互会社	2,000	2.22
共同印刷従業員持株会	1,820	2.02
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,564	1.73
三井住友信託銀行株式会社	1,482	1.64

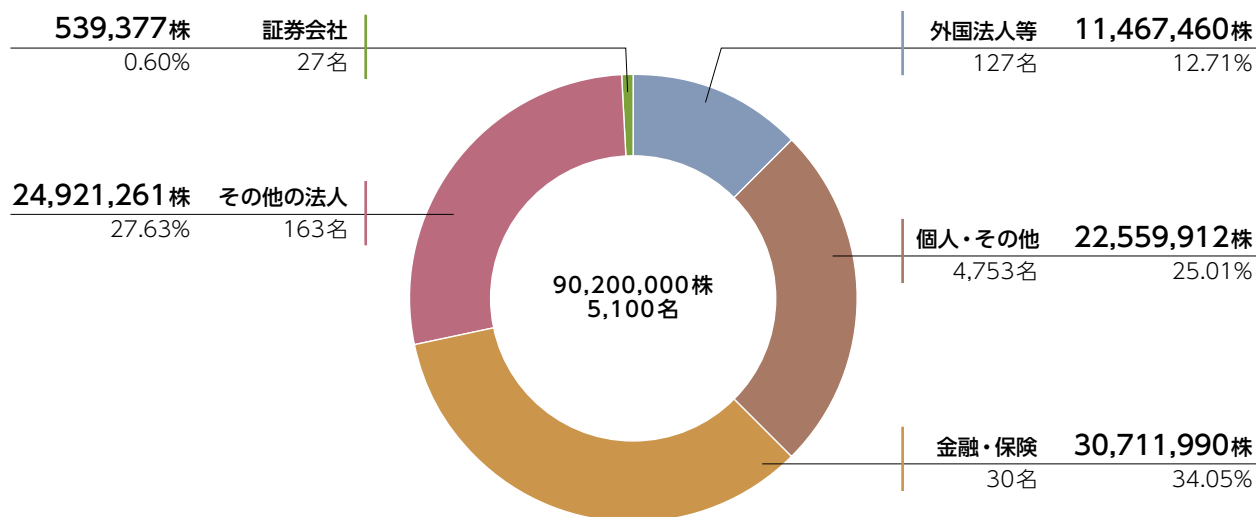
※当社は自己株式2,371,597株を保有しておりますが、上記大株主から除外しています。



## ●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	5,100名

## ●所有者別株式分布状況(株式数比率)



# 共同印刷グループネットワーク

会社商号 共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)  
創業年月日 1897(明治30)年 6 月25日  
設立年月日 1925(大正14)年12月26日  
資本金 45億1千万円  
本社 〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12  
Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

## ●役員紹介

### 取締役および執行役員

取締役会長	稲木 歳明
代表取締役社長	藤森 康彰
取締役 常務執行役員	大澤 春雄
取締役 常務執行役員	清水 市司
取締役 常務執行役員	井戸 一喜
取締役 常務執行役員	大久保隆司
取締役 常務執行役員	渡邊 秀典
社外取締役	高岡 美佳
社外取締役	内藤 常男
上席執行役員	今村 敏夫
上席執行役員	里村 憲治
上席執行役員	汲井 隆
上席執行役員	松崎 広孝
上席執行役員	英 紀一
上席執行役員	石井 啓太
上席執行役員	前川 俊夫
執行役員	富井 徹也
執行役員	高橋 孝治
執行役員	仲田 宏治
執行役員	富岡 忠司
執行役員	秋元 秀夫

### 監査役

常勤監査役	小笠原 誠
常勤監査役	宮城 忠雄
社外監査役	公文 敬
社外監査役	徳岡 卓樹 弁護士

## ●製造工場およびグループ会社

### 情報コミュニケーション部門

小石川工場  
五霞工場  
越谷工場  
苫小牧工場(株式会社コスモグラフィック)  
小石川プロセス株式会社  
共同印刷製本株式会社  
デジタルカタパルト株式会社

### 情報セキュリティ部門

鶴ヶ島工場  
川島ソリューションセンター  
京都工場(共同印刷西日本株式会社)

### 生活・産業資材部門

守谷第一工場/守谷第二工場  
小田原工場  
相模原工場  
和歌山工場  
磯原工場(常磐共同印刷株式会社)  
共印商貿(上海)有限公司  
KYODO PRINTING (VIETNAM) CO.LTD.

### その他

共同物流株式会社  
共同総業株式会社  
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社  
(関連会社)  
共同製本株式会社  
PT Arisu Graphic Prima  
株式会社バイオネット研究所

## 共同印刷オリジナル技術「彩美版®」

いとう じゃくちゅう ひので ほうおうず

# 伊藤若冲《日出鳳凰図》 株主さま特別価格でご案内

江戸画壇の奇才、伊藤若冲。生誕300年を記念し、2016年の春に開催された展覧会が大盛況で幕を閉じたのも記憶に新しいところです。ご案内の「日出鳳凰図」は青年期の若冲の気概あふれる傑作。旭日と鳳凰に焦点を絞った大胆な構図が比類なき才能を感じさせ、緻密な描写が完成度の高さを誇ります。酉年の新しい年を迎えるにあたり、慶祝の日にふさわしい華やかで独創的な吉祥画の逸品を、是非お手元でお楽しみください。

このたび、「株主通信」をご覧の株主さまだけに、期間限定で特別価格にてご案内します。

## 彩美版® 伊藤若冲《日出鳳凰図》

### 【仕様体裁】

技法 彩美版®

※「彩美版®」は、ハンドメイドのよさと最新の画像処理技術を融合させた最高レベルの版画(複製画)技術です。

用紙 特製絹本

証明 所蔵先承認印付き証紙を貼付

原画所蔵 ポストン美術館

### 掛軸

表装 本表装

画寸 天地94.0×左右33.0cm

軸寸 天地183.0×左右52.5cm

付属 柱目桐箱、タトウ

### 受付期間:

2016年12月7日から

2017年2月28日まで

期間中本社1Fロビー

に作品を展示します。

美術をもっと楽しむためのウェブマガジン  
「美術趣味」のご案内

美術  
趣味

<http://bijutsu-shumi.com/>  
こちらのサイトでは、各誌の掲載のほかに多数  
の商品をご紹介します。是非ご覧ください。

〈部分〉



この商品には額装もあります  
(額寸 天地119.5×左右48.7  
cm)。詳しくは、係までお問い  
合わせください。

< 切りとり線 >

## 高級美術複製画 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおりに注文します。

作品名 彩美版® 伊藤若冲《日出鳳凰図》 掛軸・額装(いずれかに○) 金額 90,000円(税込)

ふりがな

お名前(会社名)

印

TEL

FAX

※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

( )

納品先ご住所 〒

TEL

※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

お名前(会社名)

### ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、  
または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

### お支払方法(代金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品をご入金を確認次第発送します。

※ 振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

### 本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

# 株式のご案内

**決算期** 3月31日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**株主確定基準日** 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要あるときは予め公告する日  
**公告方法** 電子公告  
ただし電子公告による公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載して行います。  
公告およびIR情報などを掲載するWebサイト(URL)  
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

**上場証券取引所** 東京証券取引所  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
**電話照会先** 電話0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各  
支店で行っています。

## お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上